
それいゆ (soleil)
岸田國士『紙風船』より

渡邊一功
ver.1.001

登場人物

女 男

「それいゆ (soleil)」 ～岸田國士『紙風船』より～

時 初夏のある日曜の昼下がり

場所 ある賃貸マンションのリビング、そしてバルコニー

舞台上にはバルコニーとおぼしき場所に一脚のデッキチェアとテーブル。

リビングに置かれたCDラジカセから音楽が流れている。

男はデッキチェアに寝そべり、ビールを飲みながら本を読んでいる。

女が現われる。寝起きの様子。

男、本を読みながら、

男 おはよ。

女 おはよう……

男 大丈夫？

女 ん？

男 二日酔い。

女 ちよつとアタマ痛いけど平気。

男 すごかったよ、昨日。

女 ゴメン、久々にはしゃいじゃって……

男 玄関で寝てたの、憶えてる？

女 ウソ。

男 ホント。ベッドまで運ぶの大変だったんだから。

女 ……ワタシ、なにかへんなこと言った？

男 別に……どうして？

女 ううん、ならいい……ごめんなさい。みんなと会うの久しぶりだったから、つい。

男 どれくらい飲んだの？

女 ……三人でビール何杯か飲んで、ワインを五本……六本か。それ空けて。あとは……憶えてない……

…

男 (笑いながら) 大酒飲みだな。

女 私を酒飲みにしたのは先生でしょ？

男 でもグラス一杯をボトル二本にしたのは僕じゃないよ。

女 それはまあ、そうだけども……

男はまだ本を読んでいる。

女、外を見やり、

女 ……天気いいね。

男 ん？ うん。

女 いいな。晴れた日曜。

男 でももう二時だよ。寝過ごして損したね。

女 今日はいいの？

男 なに？

女 研究室行かなくて。

男 キミが起きないから出るに出れなかった。

女 ウソ、ごめんなさい。

男 いやいや冗談。それがさ……………どうしようかと思って。

女 行かないの？

男、本を閉じ伸びをしながら、

男 どうしようかな……

女 川上先生（※）、待ってるんじゃない？

男 いや、別にいつも約束してるわけじゃないし、教授もたまに来ないときあるし。

女 ワタシ、起きたらいないんだと思ってた。

男 行こうと思ったんだけど本読み始めたらなんかね。天気いいし。

女 どうするの？

男 そうだな……

男、少し考える。

女 先生いなかったら、姉さん誘って買い物行こうと思ってたんだけど、

男 行ってきなよ。チエちゃんによろしく言っといて。

女 先生は？

男、再び本を開きながら、

男 ん、いいよオレは。気にしなくて。
女 ……………。

不満げな女の表情。

男、ふと彼女の沈黙が気にかかり、

男 どうかした？

女 ……別に。

男 その割になんか言いたそうだけど。

女 なんでもない。

男 なに。言ってよ。

女 別に。なんでもない……

男 ……………。

間。

男は再び本へ目をやる。

女 ……ハルナ達、今日秋川でバーベキューだつて。

男 へえ。

女 キャンプ場あるでしょ。カナエも一緒。ふたりとも旦那さん連れて行くつて、

男 カナエちゃんこのコ、もうそんなになつたの？

女 え、

男 三月に生まれたばつかじゃない？もう連れて歩けるんだ。

女 ……二月。

男 そつか。へえ、いいね。家族でバーベキュー。

女 カナエはお母さん近くに住んでるから赤ちゃん預けて。

男 ああ、そつか。やっぱり便利だね、親が近いと。

女 だからカナエも、旦那さんとふたりで。

男、無反応。

テーブルにおいてあつたビールの缶を取ろうとする。

しかし女が男よりも先にビールを取り上げる。

男 ……なに？

女 そっちこそなに？ 昼間っから飲んで。

男 別に……別に今日始まったことじゃないじゃない。それに久々にのんびり出来そうなどこなんだしさ。

男、女のビールを取り返そうとする。

だが女はそれをかわす。

男 なに？

女 「なに」じゃない。たまの休みなのに。

男 休みって……まだ決まったわけじゃないよ。もしかすると教授んどこ行くかもしんないし、

女 じゃなんでお酒飲んでるの？

男 いや、だからどうしようかなって、

女 どうするの？

男 え、

女 行くの？ 行かないの？

男 だからまだ決めてないって。

女 決めて。どっち。

男 ……なに怒ってるの？

女 別に、怒ってない。

男 怒ってるよ。

女 怒ってない。

二人静止。

男、本を閉じテーブルに置く。

小さな溜息をつき、

男 ……なに？僕が昼からだらだらしてるのが気に入らないわけ？

女 ……。

男 いいじゃない。なんかさ、いい天気だからだらだらししたい気分で、

女 私も誘われたの、バーベキュー。

男 え。

女 でも日曜だから先生行けないと思って断った。

男 行けばよかったじゃない。

女 私ひとりで？

男 いや、ひとりじゃなくても、電話一本くれるとか、

女 先生はもう寝てる時間だった。

男 じゃあ朝起きてひとこと言ってくれれば、

女 言えば一緒に行ってくれた？

男 え、

女 どうせなんだかんだ言っただ断ってた。

男 それは……分かんないよ。

女 分かんなくない。いつも誰かと一緒に出かけようって話するとめんどくさそうな顔して断るじゃない。

男 いつもって……そんなに何回も誘われたことないよ。

女 あります。ただ先生が憶えてないだけ。いっつもうちの空で「研究室行かなきゃ」とかなんとか言うて。

男 ……………。

男、返す言葉をなくす。

いっししか音楽は止んでいる。

男 ……じゃあ、どうしょっか。

女 どうするかは先生しだいでしょ。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

それいゆ (soleil) (おためしサンプル)

岸田國士『紙風船』より

2011年4月15日 初版発行

2011年4月16日 改訂 (ver.1.001)

著 者 渡邊一功 © 2011年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903
